

ごしょがわらす えき かまあとぐん 五所川原須恵器窯跡群

青森県五所川原市



標柱（犬走（3）遺跡・MD7号窯）

30 遺跡・40 基の窯跡が発見され、うち 13 基が史跡指定されている。遺物の一部は史跡付近の市指定文化財楠美家住宅の土蔵に展示されているほか、焼物製作体験用として大小の窯が復元されている。

平山明寿（青森県埋蔵文化財調査センター）



復元窯（楠美家住宅内）



遺物展示（楠美家住宅土蔵内）

【基本情報】

遺跡名 五所川原須恵器窯跡群
(ごしょがわらす えき かまあとぐん)

所在地 青森県五所川原市持子沢

指定の有無と指定年月日

国史跡（平成 17（2005）年 9 月 30 日）

立地環境と遺跡の規模 青森県西部の津軽半島中南部、前田野目川支流沿いの標高 30～200m の小丘陵先端部に立地。東西 4.0km、南北 4.3km の範囲に窯跡が分布する。

遺跡の年代 9 世紀末葉～10 世紀後葉

遺跡の概要 5 つの支郡に分けられ、高野窯跡支群から持子沢窯跡支群、前田野目窯跡支群に操業が移動した。製品は青森県・北海道・秋田県北・岩手県北に流通する。

発掘調査初年 昭和 43（1968）年

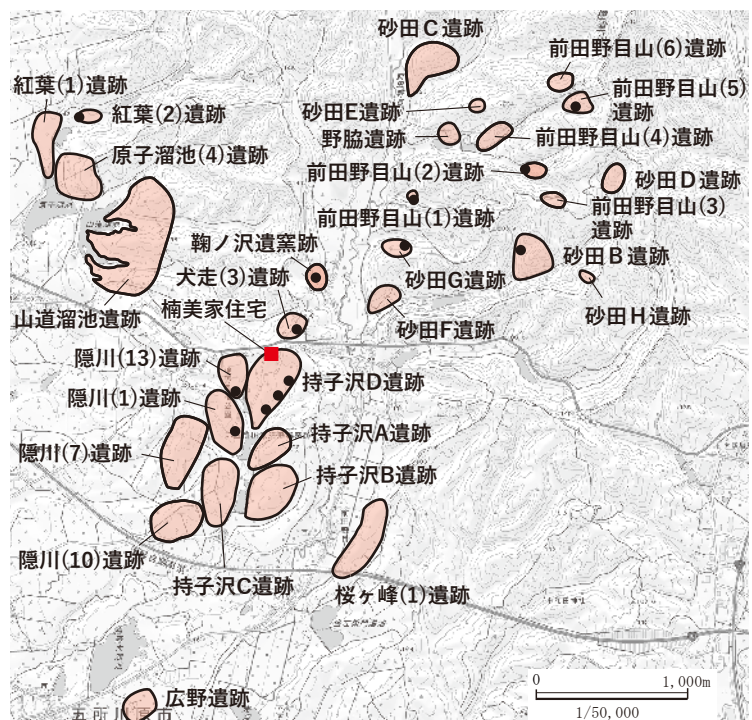
整備実施年 平成 10（1998）年～

「発掘調査成果編」の参照ページ

第 3 分冊 pp.427-430

【関連文献】

五所川原市 2020『五所川原市博物館等整備計画』



遺跡の位置